

スペインのお勧め  
**バル・レストラン**

Bares y restaurantes recomendables

Vol.19  
**Tabanco El Pasaje**

タバコ・エル・パスア (Cádiz / カディス)

シェリー酒とフラメンコの街ヘレス・デ・ラ・フロンテーラに着いたのは日曜の午後だった。

ヘレスに立ち寄った目的は主に酒蔵巡りだったが、残念ながら日曜は休業のようなので翌日の楽しみにとっておくとして、宿のご主人に、日曜の夜にフラメンコが楽しめるような場所、できればシェリー酒もあればなお良しと、尋ねてみた。

その答えが、「それなら、タバコ・エル・パスアへ行くといいよ」だった。

タバコとは、シェリー酒を飲みつつタパスをつまんだり、シェリー酒が量り売りで買えたりする、ヘレス特有のバルのようなもの、なのだそうだ。

夜になって、さっそくエル・パスアを覗いてみた。壁には闘牛のポスター、カウンターで立ち飲みスペイン人たち、そのカウンターの中にはシェリー樽が積んである。これぞヘレス!

私もさっそくカウンターの客のひとりになって、カ

マレロ氏お勧めのパロ・コルタードとモハマ(マグロの生ハム)のタパスを愉しんでいると、店の奥の小さなステージから、情感たっぷりのギターとカンテが聴こえてきた。

カウンターの隣に立つ男性が連れに話す声が聞こえてくる。「フラメンコというのは本来、踊りじゃなく、音楽なんだ」

英国人がシェリーと呼んだピノ・デ・ヘレス(ヘレス・ワイン)を楽しめるタバコでは、入場料もライブチャージもなく、フラメンコに触れることができる。

アンダルシアのこの小さな街で、観光客向けのショーとしてではなく、より身近に人々の生活の中でフラメンコが息づいているのを感じた瞬間だった。



マグロとチーズのオイル漬けとパロ・コルタード。注文金額がカウンターにチョークで記される



1 シェリー樽とシェリー酒を愉しむ人々。壁には闘牛のポスターが貼ってある 2 この夜のフラメンコライブ。ヘレスは現在のスタイルのフラメンコの発祥の地といわれている



◆ Información

**Tabanco El Pasaje (タバコ・エル・パスア)**

住所: Calle Sta. María 8, Jerez de la Frontera, Cádiz  
 電話: +34 956 333 359  
 URL: www.tabancoelpasaje.com

※上記情報は、2018年4月時点のもので変更する可能性があります。



中村 美和 / Miwa Nakamura

情報工学修士、日本での電機メーカー勤務を経て、2007年に渡西。マドリッドにていくつかの企業のウェブシステム開発等に携わった後、CROSSMEDIA WORKS S.L.を起業。主に観光や食に関するプロモーションや、雑誌、ガイドブック、テレビなどの取材コーディネート。その他、マドリッド情報を発信するtodomadrid.infoなどを運営。

@n\_miwa @spain\_go

水彩画だより

**スペインの風景に魅せられて vol.4**

スペインの各地を旅するとき、世界遺産、パラドール、白い家と花通りなど、多くの場所で個性的で美しい景色に遭遇し感動します。その思い出を水彩画で楽しく表現しました。

**Parador de Hondarribia**

西・仏国境の古城を改修したパラドール

オンドリビア(バスク語)またはフエンテラビエア(スペイン語)は、スペイン・バスク州ギプスコア県の港町。公式名はバスク語表記の Hondarribia。県の北東端に位置し、国境となっているビダソア川を挟んで、フランス領土のアンダイエと向かい合う。渡し船は片道15分で隣国の街へ着く。オンドリビアには美味しいマリスコス(海の幸の料理)レストランが立ち並び、観光客で賑わっている。

パラドールは小高い丘の上に聳え、ビダソア川の対岸、フランスのアンダイエの洒落た家並みを望み、大小さまざまな船が錨を降ろしているのどかな風景を見ることができる。

歴史的な背景をみると、ここは西暦1200年頃に築かれた城塞だ。その後、一時フランスに占拠されたこともあり、17世紀にはフェリペ4世時代の西仏戦争での包囲に耐え、街を守り抜いた。外壁のところが飾られ多くの戦いをくぐり抜けてきた城の歴史を思い起こさせる。

(左)渡船上から見る高台にあるパラドールの景色 (右)パラドールの庭から対岸の眺めは素晴らしい



**Parador de Hondarribia**  
 パラドール・デ・オンドリビア

住所: Plaza de Armas, 14, 20280 Fuenterrabía, Guipúzcoa  
 電話: +34 943 64 55 00  
 URL: www.parador.es



牧瀬貢 / Mitsugu Makise

一般社団法人横浜スペイン語センター前理事長。横浜市戸塚区在住。1961年、ブリヂストン横浜工場にエンジニアとして転勤。ここを拠点に数多くの国内・海外経験を積む。ドイツ、カナダ、米国、イギリス、スペインに駐在。短期的な出張を含め世界100ヶ国を経験。とりわけ、最後の駐在スペインの風土、国柄に惚れ込み、北部バスク・ビルバオに駐在。休暇中に17州51県をくまなく廻り、また定年後、思い出の場所での絵画制作を楽しむ。